

新入生ガイダンス： 履修と時間割表について

生命機能学科カリキュラムについて

生命機能学科 (愛称**FB**; Department of Frontier Bioscienceの略) は研究を重視している学科です。

---生命系の研究者・技術者を目指す学生のために実践的なユニークなカリキュラムをもつ。

1年次から専門的な**実験**を実施、**英語**で生命科学を学ぶ。

2年次秋から希望者は**研究室に所属して研究をすることが**できる。

2年次春までに研究を実施するための土台を築く必要があるので、

特に、**1年次**はしっかり学問に取り組んで下さい。

1年次の成績(GPA; 後述)が**2年次**の研究室配属決定材料の一つになります。

卒業後は**大学院修士課程**(その後はさらに**博士課程**)に進学して、研究を深化・発展させることで
修士修了後には、**企業等の研究開発職・技術職に就く**ことが可能です。

本日の話しについては「履修の手引き」に詳しく記載されているので、そちらを熟読ください。

<https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo1NjgxNTR9&detailFlg=0&pNo=1>

目次 ・2025年度履修上の注意

・教育課程と単位制度

・進級／卒業に必要な単位取得

・教養系科目と専門教育科目

・カリキュラムツリー

・時間割と履修計画

・履修登録

・ERP履修の勧め

・成績評価

学務課作成の生命科学部の履修ガイダンスは

<https://www.youtube.com/watch?v=oChe2YEQOdI>

こちらでみることができます。

こちらも参考にしてください。

2025年度履修上の注意

法政大学は**対面を基本**として実施します。

これまでの経験を生かし、オンライン教育の効果が見込まれる授業ではオンラインも活用します。卒業に必要な**124単位**のうち、オンライン授業の上限は**60単位**です。

授業に関する連絡はhoppii（法政ポータルサイト）と**学習支援システム**に加えて、**大学ホームページ**、**メール**（hoseiアドレスを使用すること）、**web掲示板**を介しておこないますので、毎日確認をしてください。

なお、hoppiiと学習支援システムは今年度から新しいものに変更されました。

教員、先輩ともにまだ不慣れですが、できるだけはやくみなさんにわかりやすい形の運用をしたいと考えています。

不明な点がありましたら、教員やラーニングサポーターなどに気軽に聞いてください。

教育課程と単位制度

詳細は履修の手引き
3ページで確認

科目系列		必要単位数		
教養系科目	英語科目	8 単位	計 32 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	計 124 単位以上
	教養科目	24 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)		
	理系教養科目			
専門教育科目	学部共通科目	80 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)		
	学科共通科目			
	学科専門科目			
	専修専門科目			
自由選択科目		12 単位以下		
教職・各資格関係科目		卒業所要単位には含まれません		

- ・授業科目は主に**教養系科目(理工・生命両方に開設されている科目)**と**専門教育科目**からなります(教職を目指す場合は**教職科目**も修得が必要)。
教育課程には**単位制度**が採用されています。単位制度では、所定の授業科目の履修を修了し、平素の学習・出席状況および試験・レポート等による成績評価により、合格することで、その授業に与えられている所定の単位を修得できます。
- ・生命機能学科を卒業し**学士(生命科学)**の学位を得るためには、**4年以上**在学し、各学年に定められた進級要件を満たし、**124単位以上**の卒業所要単位を修得する必要があります。

進級要件・卒業要件

詳細は履修の手引き
33ページで確認

		教養系科目			専門科目	自由選択科目	合 計
		英語科目	教養科目 (人文・社会・自然 科学系・保健体育 系・選択語学系リテ ラシー系)	理系教養 科目 (数学系・ 理科系)	学部共通科目 学科専門科目		
1 年 次	2年への 進級要件				15単位以上（「生命機能学基礎実験Ⅰ」「生命機能学基礎演習Ⅰ」を含めた必修11単位を含む）		30単位 以上
	履修上の 留意点	・少なくとも40単位以上の修得を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
2 年 次	3年への 進級要件		「生命機能学基礎英語Ⅰ」の修得		40単位以上（「生命機能学基礎実験Ⅱ」「生命機能学基礎演習Ⅱ」を含めた必修22単位を含む）		60単位 以上
	履修上の 留意点	・1年次修得単位と2年次修得単位の合計として、少なくとも80単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
3 年 次	4年への 進級要件	8単位	「生命機能学基礎英語Ⅱ」「生命機能学英語Ⅰ」の修得		60単位以上 （「生命機能学演習Ⅰ」と 「生命機能学研究Ⅰ」を含 めた必修25単位を含む）		96単位 以上
	履修上の 留意点	・1～2年次修得単位と3年次修得単位の合計として、少なくとも116単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					
4 年 次	卒業要件	8単位	24単位以上 （必修5単位を含む）		80単位以上 （必修31単位を含む）	計12単位 以下	124単位 以上

- ・上の学年に進級するためには**進級要件**があります。進級要件は**最低ライン**です。
1、2年次のうちにできる限り多くの単位を修得し、4年次には卒業研究関連科目のみを履修すれば卒業できる状況にしましょう。

教養科目一覧(1)

生命科学を修得するためには、**教養科目**で基礎科学を学ぶことで、最先端科学を理解するための土台を作り、多様な分野の学問を学ぶことで、幅広い視野を身につける必要があります。

また、研究発表、コミュニケーションのためのツールとして**英語**が欠かせません。以下、特に1年次対象の重要な教養科目について記載します(1年次で履修しきれないときは2年次以上で履修可)。

・英語科目(1年次では**3科目必修**)

・選択語学系

1年次では**生命機能学基礎英語 I**が必修

SAプログラム: 夏(理工中心; マレーシア)と春(生命中心; アメリカ)

SAは履修登録は必要ないので、事前説明会に参加してください。

・リテラシー系

情報リテラシーと表現技術、情報処理技法

研究で使用するPCの使用法、プログラミング技法を身につける上で有用な科目です。

・理系教養科目(専門の土台となる科目群)

数学系科目、物理学基礎 I・II、化学基礎 I・IIと科学実験 I・II・III(3科目セットで履修。2年次での研究室

配属を希望するためには修得が**必須**)を特に履修推奨します。高校で**生物の未履修者**は**生物学基礎 I・II**の履修を推奨します。

なお、物理学基礎 I・IIを始めとする理系教養科目の多くは教職科目にも指定されています(**教職を目指す方は注意!**)。

詳細は履修の手引き
4~7ページで確認

教養科目一覧【2023年度以降入学者用】

	科目名	配当年次	単位数	
			必修	選択
英語科目	コミュニケーションストラテジー	1	2	
	コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I	1	1	
	コンプリヘンシヴ・イングリッシュ II	1	1	
	アカデミックライティング	2	2	
人文・社会・自然科学系	アカデミックライティング I	2	1	
	アカデミックライティング II	2	1	
	哲学入門	1	2	
	言語学概論	1	2	
	日本文化論	1	2	
	アジア文化論	1	2	
	ヨーロッパ・アメリカ文化論	1	2	
	アフリカ文化論	1	2	
	比較文化論	1	2	
	映像芸術	1	2	
	音楽芸術	1	2	
	こころの働き	1	2	
	パーソナリティ	1	2	
	知的所有権	1	2	
	社会科学の方法論	1	2	
	国際関係論	1	2	
	基礎経済学	1	2	
	応用経済学	1	2	
	企業マネジメント	1	2	
	現代政治学	1	2	
	キャリアデザイン	1	2	
	法学(日本国憲法)	1	2	
	法と社会	1	2	
	科学技術史	1	2	
	先端技術・社会論	1	2	
	技術者倫理	1	2	
	情報倫理	1	2	
	環境と資源	1	2	
	宇宙と地球	1	2	
	生命の起源と進化	1	2	
	生物の多様性	1	2	
	物質科学と先端技術	1	2	
	宗教と社会	1	2	
保健体育系	スポーツ健康科学実習 I	1	1	
	スポーツ健康科学実習 II	1	1	
	スポーツ健康科学実習 III	1	1	
	スポーツ健康科学実習 IV	1	1	
	スポーツ健康科学講義 I	1	2	
	スポーツ健康科学講義 II	1	2	
選択語学系	英語中級コミュニケーション	1	1	
	英語中級リーディング	1	1	
	英語中級ライティング	1	1	
	ビジネス英語	1	1	
	基礎英語	1	1	
	英語資格試験準備講座	1	1	
	上級英語	1	1	
	生命機能学基礎英語 I ※2	1	1	
	生命機能学基礎英語 II ※2	2	1	
	生命機能学英語 I ※2	3	1	
	生命機能学英語 II ※2	4	1	
	生命機能学英語 III ※2	4	1	

※1 3科目を同時に履修
※2 生命機能学系のみ受講可
※3 単位は卒業要件に参入できません。履修単位制度やGPA算出対象からは除外されます。
※4 生命機能学と応用植物科学科のみ受講可
※5 応用植物科学科のみ受講可

	科目名	配当年次	単位数	
			必修	選択
選択語学系	基礎ドイツ語 I	1	1	
	基礎ドイツ語 II	1	1	
	基礎ドイツ語コミュニケーション	1	1	
	中級ドイツ語コミュニケーション	1	1	
	中級ドイツ語リーディング	1	1	
	中級ドイツ語ライティング	1	1	
	上級ドイツ語	1	1	
	基礎フランス語 I	1	1	
	基礎フランス語 II	1	1	
	基礎フランス語コミュニケーション	1	1	
	中級フランス語リーディング	1	1	
	中級フランス語ライティング	1	1	
	上級フランス語	1	1	
	基礎スペイン語 I	1	1	
	基礎スペイン語 II	1	1	
	基礎スペイン語コミュニケーション	1	1	
	中級スペイン語リーディング	1	1	
	中級スペイン語ライティング	1	1	
	上級スペイン語	1	1	
	基礎中国語 I	1	1	
	基礎中国語 II	1	1	
	基礎中国語コミュニケーション	1	1	
	中級中国語コミュニケーション	1	1	
	中級中国語リーディング	1	1	
	中級中国語ライティング	1	1	
	上級中国語	1	1	
	基礎朝鮮語 I	1	1	
	基礎朝鮮語 II	1	1	
	基礎朝鮮語コミュニケーション	1	1	
	中級朝鮮語コミュニケーション	1	1	
	中級朝鮮語リーディング	1	1	
	中級朝鮮語ライティング	1	1	
	上級朝鮮語	1	1	
理系教養科目	SAプログラム	1	2	
	文書作法	1	2	
	情報リテラシーと表現技術	1	2	
	情報処理技法	1	2	
	線形代数及び演習 I	1	2	
	線形代数及び演習 II	1	2	
数学系	微分積分学及び演習 I	1	2	
	微分積分学及び演習 II	1	2	
	物理学基礎 I	1	2	
	物理学基礎 II	1	2	
	化学基礎 I	1	2	
	化学基礎 II	1	2	
理科系	生物学基礎 I	1	2	
	生物学基礎 II	1	2	
	地学基礎	1	2	
	科学実験 I ※1	1	1	
	科学実験 II ※1	1	1	
	科学実験 III ※1	1	1	
入門科目	入門数学 ※3	1	1	
	入門物理学 ※3	1	1	
	入門化学 ※3 ※5	1	1	
	入門生物学 ※3 ※5	1	1	

教養科目一覧(2)

・補完教育科目(理系教養科目内に設置)

数学や理科の基礎学力に不安のある皆さんのために、
「**入門数学**」、「**入門物理学**」、「**入門化学**」を
2023年度から開講しました(1年次に**2科目**が履修可能)。
これらの科目を履修すると、各々1単位が認定されますが、
卒業要件には算入されません。

補完教育科目は、プレースメントテストの成績等をもとに、
原則、所属学科から指示された学生のみが受講できます
(対象の学生さんには近日中にメール連絡があります)。

生命機能学科で開設している専門科目の理解には、
高校までの生物とは異なり、**数学、物理、化学の学力が
必要です**。履修を指示された皆さんは是非積極的に
履修し、春学期のうちに、最先端の生命科学を学ぶための
土台作りを行ってください。

履修者の決定に時間がかかるため、
入門数学、入門物理学のスタートは**4/19(土)**
入門化学のスタートは**4/14(月)**になります。

詳細は履修の手引き
4～7ページで確認

教養系科目一覧【2023年度以降入学者用】

	科目名	配当 年次	単位 数	必修 選択		科目名	配当 年次	単位 数	必修 選択
英語科目	コミュニケーションストラテジー	1	2			基礎ドイツ語Ⅰ	1	1	
	コンプリヘンシブライティングⅠ	1	1			基礎ドイツ語Ⅱ	1	1	
	コンプリヘンシブライティングⅡ	1	1			基礎ドイツ語コミュニケーション	1	1	
	アカデミックライティング	2	2			中級ドイツ語コミュニケーション	1	1	
	アカデミックリーディングⅠ	2	1			中級ドイツ語リーディング	1	1	
人文・社会・自然科学系	アカデミックリーディングⅡ	2	1			中級ドイツ語ライティング	1	1	
	哲学入門	1	2			上級ドイツ語	1	1	
	言語学概論	1	2			基礎フランス語Ⅰ	1	1	
	日本文化論	1	2			基礎フランス語Ⅱ	1	1	
	アジア文化論	1	2			基礎フランス語コミュニケーション	1	1	
	ヨーロッパ・アメリカ文化論	1	2			中級フランス語コミュニケーション	1	1	
	アフリカ文化論	1	2			中級フランス語リーディング	1	1	
	比較文化論	1	2			中級フランス語ライティング	1	1	
	映像芸術	1	2			上級フランス語	1	1	
	音楽芸術	1	2			基礎スペイン語Ⅰ	1	1	
	こころの働き	1	2			基礎スペイン語Ⅱ	1	1	
	パーソナリティ	1	2			基礎スペイン語コミュニケーション	1	1	
	知的所有権	1	2			中級スペイン語コミュニケーション	1	1	
	社会科学の方法論	1	2			中級スペイン語リーディング	1	1	
	国際関係論	1	2			上級スペイン語	1	1	
	基礎経済学	1	2			基礎中国語Ⅰ	1	1	
	応用経済学	1	2			基礎中国語Ⅱ	1	1	
	企業マネジメント	1	2			基礎中国語コミュニケーション	1	1	
	現代政治学	1	2			中級中国語コミュニケーション	1	1	
	キャリアデザイン	1	2			中級中国語リーディング	1	1	
	法学(日本国憲法)	1	2			中級中国語ライティング	1	1	
	法と社会	1	2			上級中国語	1	1	
	科学技術史	1	2			基礎朝鮮語Ⅰ	1	1	
	先端技術・社会論	1	2			基礎朝鮮語Ⅱ	1	1	
	技術者倫理	1	2			基礎朝鮮語コミュニケーション	1	1	
	情報倫理	1	2			中級朝鮮語コミュニケーション	1	1	
	環境と資源	1	2			中級朝鮮語リーディング	1	1	
	宇宙と地球	1	2			中級朝鮮語ライティング	1	1	
	生命の起源と進化	1	2			上級朝鮮語	1	1	
	生物の多様性	1	2			SAPプログラム	1	2	
保健体育系	物質科学と先端技術	1	2			文書作法	1	2	
	宗教と社会	1	2			情報リテラシーと表現技術	1	2	
	スポーツ健康科学実習Ⅰ	1	1			情報処理技法	1	2	
	スポーツ健康科学実習Ⅱ	1	1			線形代数及び演習Ⅰ	1	2	
	スポーツ健康科学実習Ⅲ	1	1			線形代数及び演習Ⅱ	1	2	
選択語学系	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1	2			微分積分学及び演習Ⅰ	1	2	
	スポーツ健康科学講義Ⅱ	1	2			微分積分学及び演習Ⅱ	1	2	
	英語中級コミュニケーション	1	1			物理学基礎Ⅰ	1	2	
	英語中級リーディング	1	1			物理学基礎Ⅱ	1	2	
	英語中級ライティング	1	1			化学基礎Ⅰ	1	2	
	ビジネス英語	1	1			化学基礎Ⅱ	1	2	
	基礎英語	1	1			生物学基礎Ⅰ	1	2	
	英語資格試験準備講座	1	1			生物学基礎Ⅱ	1	2	
	上級英語	1	1			地学基礎	1	2	
	生命機能学基礎英語Ⅰ ※2	1	1			科学実験Ⅰ ※1	1	1	
	生命機能学基礎英語Ⅱ ※2	2	1			科学実験Ⅱ ※1	1	1	
	生命機能学英語Ⅰ ※2	3	1			科学実験Ⅲ ※1	1	1	
	生命機能学英語Ⅱ ※2	4	1			入門数学 ※3	1	1	
	生命機能学英語Ⅲ ※2	4	1			入門物理学 ※3	1	1	
						入門化学 ※3 ※4	1	1	

※1 3科目を同時に履修
※2 生命機能学科のみ受講可
※3 単位は卒業要件に参入できません。履修単位制限制度やGPA算出対象からは除外されます。
※4 生命機能学科と応用植物科学科のみ受講可
※5 応用植物科学科のみ受講可

生命機能学科専門教育科目一覧

詳細は履修の手引き
28～38ページで確認

(1) 2023 年度以降入学用

学年	学部共通科目	学科専門科目
1 年	○分子生物学Ⅰ ○生物化学Ⅰ 基礎有機化学Ⅰ グリーンケミストリ 植物分子細胞生物学 植物薬理学	○分子生物学Ⅱ ○細胞生物学Ⅰ 基礎有機化学Ⅱ 環境と人間 植物医科学概論
2 年	△蛋白質構造機能学Ⅰ △細胞構造機能学Ⅰ 機器分析学 環境安全化学 バイオエンジニアリング 物質構造化学 植物バイオテクノロジー概論 植物細菌学 植物病理学概論 生物学と化学のための数学	△蛋白質構造機能学Ⅱ △細胞構造機能学Ⅱ 分子微生物学 分析化学 応用環境化学 微生物生態学 植物ウイルス学 物理化学概論Ⅰ 物理化学概論Ⅱ
3 年	遺伝子工学 分子薬理学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジ 高分子化学 物質機能化学 物質循環化学 分子エレクトロニクス 植物メディカルゲノム学	蛋白質工学 食品科学 細胞工学※ 細胞情報学 医用生体工学 神経科学 構造生物学 生命機能学実験Ⅱ ○生命機能学研究Ⅰ ○生命機能学演習Ⅰ
4 年		生体超分子 バイオエナジェティクス バイオイメージング 分子免疫学 生命機能学研究論文 ○生命機能学研究Ⅱ ○生命機能学演習Ⅱ ○生命機能学研究Ⅲ ○生命機能学演習Ⅲ

(注1) 生命機能学基礎演習Ⅰ・Ⅱおよび生命機能学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは各1単位

(注2) 生命機能学研究論文(4単位・通年)の履修は、原則として生命機能学実験Ⅰ、Ⅱを履修していることを前提とする。履修登録する場合は事前に指導教員に相談すること。

(注3) (注1、2)に記載した科目以外の科目は2単位

(注4) ○は必修科目

(注5) △は基幹科目で修得を推奨

2年生で研究室に入るための要件

(注6) 「生命機能学実験Ⅰ」の履修は「生命機能学基礎英語Ⅰ」、「生命機能学基礎英語Ⅱ」および「科学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の修得が条件

(注7) 「生命機能学実験Ⅱ」の履修は「生命機能学実験Ⅰ」の修得が条件

(注8) 「生命機能学英語Ⅰ」の履修は「生命機能学基礎英語Ⅱ」の修得を条件とします。

(注9) 「生命機能学研究Ⅲ」の履修は「生命機能学研究Ⅱ」の修得が条件

(注10) 「生命機能学演習Ⅲ」の履修は「生命機能学演習Ⅱ」の修得が条件

(注11) 「生命機能学英語Ⅲ」の履修は「生命機能学英語Ⅱ」の修得が条件

専門教育科目は、

学部共通で開設されている**学部共通科目**、
学科でのみ開設されている**学科専門科目**
にわかれます。

カリキュラムには、ゲノム機能、蛋白質機能、
細胞機能の3つのコースが設定されていますが、
コース分けは厳密なものではありません。

1、2年次は共通となっています。

1年次は

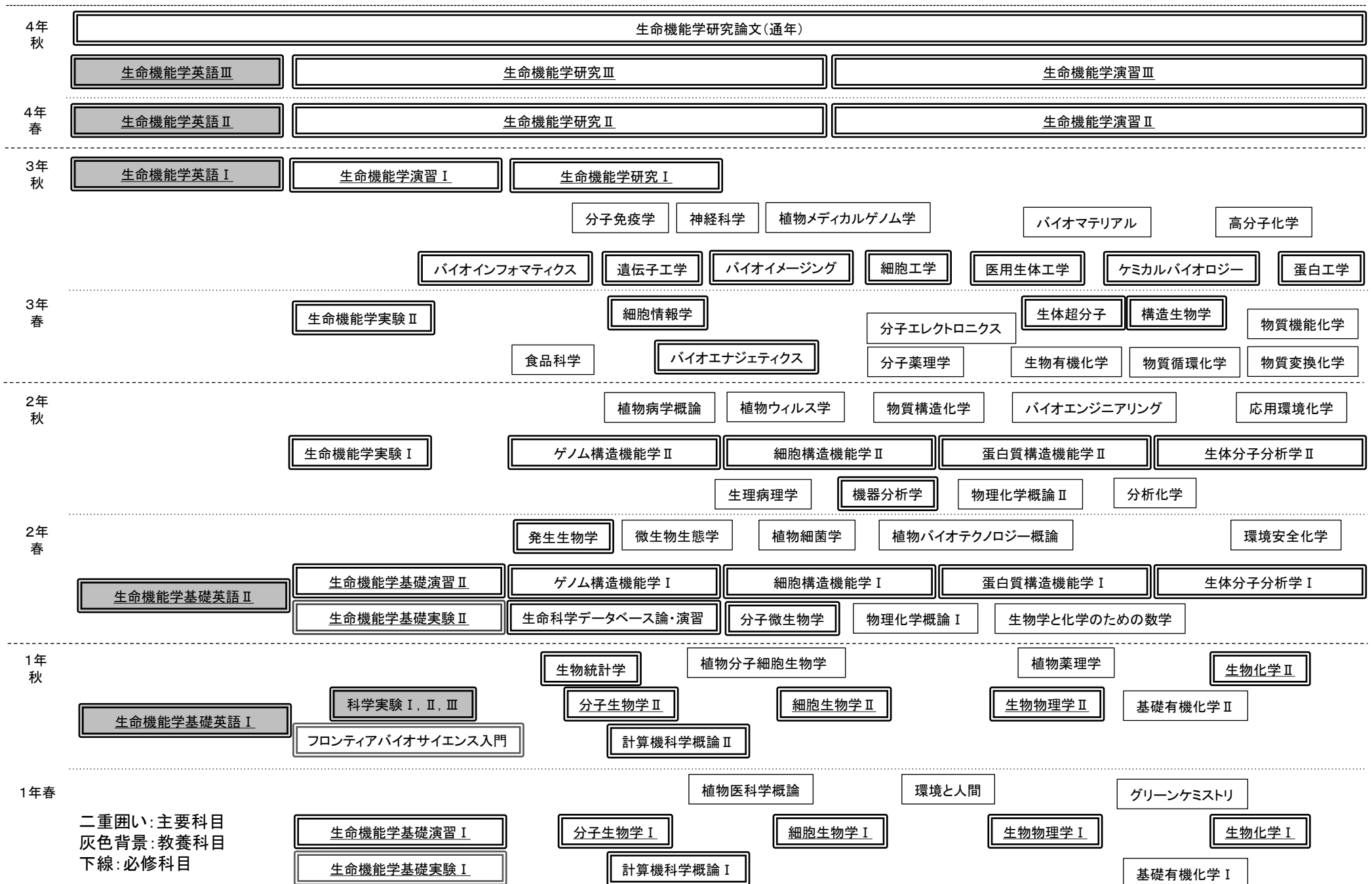
**分子生物学Ⅰ・Ⅱ、生物化学Ⅰ・Ⅱ、
生物物理学Ⅰ・Ⅱ、細胞生物学Ⅰ・Ⅱ、
生命機能学基礎実験Ⅰ、
生命機能学基礎演習Ⅰが必修科目です。**

2年生での**研究室配属に関連した科目**は

生命機能学実験Ⅰです。履修するためには
1年次で科学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの修得が必須です。

研究室配属には1年次の成績(**GPA**)、
必修科目の修得状況、理科・数学の
履修状況などを参考にします。

生命機能学科 専門科目カリキュラムツリー



時間割と履修計画

時間割

	月曜日～金曜日			土曜日
	市ヶ谷キャンパス	多摩キャンパス	小金井キャンパス	全学共通時間割 (Saturday Timetable)
1時限目	8:50～10:30	9:20～11:00	9:00～10:40	9:00～10:40
2時限目	10:40～12:20	11:10～12:50	10:50～12:30	10:50～12:30
昼休み	12:20～13:10 (50分)	12:50～13:40 (50分)	12:30～13:20(50分)	12:30～13:10 (40分)
3時限目	13:10～14:50	13:40～15:20	13:20～15:00	13:10～14:50
4時限目	15:00～16:40	15:30～17:10	15:10～16:50	15:00～16:40
5時限目	16:50～18:30	17:20～19:00	17:00～18:40	16:50～18:30
6時限目	18:35～20:15	-	-	18:35～20:15
7時限目	20:20～22:00	-	-	20:20～22:00

月～土:1～5限 授業が開講されます(各時限100分授業)
2024年度より土曜は共通時間割になっています

生命機能学科時間割と教養・教職科目時間割を参考に、
まず、各自の時間割をつくってください。

次に、各自が履修したい科目をweb上で
履修登録する必要があります。

生命機能学科時間割(https://www.hosei.ac.jp/application/files/8217/4313/9818/20250328_fb.pdf)

教養科目・教職科目時間割(www.hosei.ac.jp/application/files/3117/4340/0581/00_klac_jikannwari20250331.pdf)

中学校と高校の理科の教職免許取得を目指す方は、**教職科目**も履修する必要があります
(2025年度教職課程履修の手引参照

<https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo1NjkyMjF9&detailFlg=0&pNo=1>)。

卒業所要単位や進級条件、カリキュラムを正しく理解し、
時間割やシラバス(講義の内容と進め方;<https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>)を読んで、年間の履修計画を立てましょう。
履修登録は**法政大学情報システム**で行います。時間割の作り方は以下の順番。

教養科目/専門科目ともに必修科目を時間割に入れる。



時間割の空いているところに学科履修推奨科目を入れる。



時間割の空いているところに自分の履修したい科目を入れる

(年間で、なるべく**履修上限49単位**に近づくようにする。春・秋各々30単位を超えて履修登録はできません)。



時間割が完成したら、履修登録をwebでおこないます(4月5日から履修登録可能です)。

2025年度履修登録関連スケジュール

【全員必須】

履修登録期間：4月5日（土） 10：00～ 4月21日（月） 26：00

【必要な人だけ】

- ・履修抽選受付：4月2日（水） 17：00～4月4日（金） 12：00
- ・履修登録不備申し出期間 4月23日（水） ～ 5月9日（金）
- ・履修登録取消申請受付期間 5月8日（木） 10：00～5月9日（金） 26：00

抽選科目の受付は終わっていますが、2年次以上でも履修できるので、心配いりません。

履修登録しないと、各科目の**学習支援システムに入れません**（授業情報・資料を入手するのに必要）。

4/5までに暫定的で構わないので、少なくとも春学期すべての科目登録してください（その後、秋学期も登録）。

4/7から1週目の授業が開始。1週目の授業を受けながら、春の履修科目を第1週目の終わり（**4/12**）までに微調整するのをオススメします。2週目からは各先生受講意志があるとみなして、授業されます。

秋学期分も含めて、**4/21**が最終×切りとなります。

ただし、秋学期分は秋学期開始時に再度履修計画を見直すことができます。

履修登録

高校と違って、自分で履修したい科目を登録する必要があります。登録を忘れると、単位認定できないので、注意！

Web履修登録の手引きに従って履修登録しよう

https://www.hosei.ac.jp/application/files/3617/4312/8287/20250327_risyu_manual.pdf

履修登録は、法政大学情報システムを使い、Web 上で行います。
情報システムで履修登録した科目は月曜～金曜の各日 AM1：00 時点のデータを学習支援システムに自動登録します。ただし、即時反映されることはないので、急ぎの場合など、必要に応じて、先に学習支援システム上で該当授業を仮登録することも可能です。

履修登録受付期間(理工・生命科学部共通)

受付期間：4月5日（土）10：00～4月21日（月）26：00

※上記期間内に、必ず履修登録を完了させてください。

春学期・秋学期・通年科目の全ての履修申請を春学期の申請期間に受け付けます。各々の進級・卒業基準を満たすように登録してください。なお、秋学期授業開始時の登録修正期間には定員を充足した抽選科目および集中授業を除く秋学期科目のみ追加・修正・削除を認めます。

履修登録：履修登録科目の確認と確定

各自が登録した科目が履修登録されているか、春学期科目について確認してください。
毎年、登録したつもりで確認せず、履修登録されずに単位不認定となる学生さんが一定数いるので、気をつけてください。

○履修登録不備申し出期間

確認通知書を確認し、登録の不備や申請ミスを発見した場合には必ず下記期間内に学部窓口で相談してください。

この期間を過ぎての申し出は原則認められません。

4月23日（水） ～ 5月9日（金）

○春学期履修登録取消申請受付期間

履修登録受付期間内に登録した内容で、科目の取消を希望する場合、次の日程で取消のみ受け付けます。

受付期間：5月8日（木）10：00～5月9日（金）26：00

上記取り消し期間には、「申請した科目の取り消し」が可能です（追加・修正はできません）。

○保存用履修登録科目確認通知書の印刷と確認について

春学期履修登録期間後にエラーが無ければ登録内容が確定します。

必ず保存用に履修登録科目確認通知書を出し、不備がないか確認したうえ、
成績が通知されるまで、保管してください。

保存用履修登録科目確認通知書印刷期間

4月23日（水）10：00 ～ 6月30日（月）26：00

ERP履修のすすめ

ERP(英語強化プログラム)は、ネイティブスピーカー講師による英語スキルの養成とその統合を目的としたプログラムです。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方や英語力をさらに伸ばしたい意欲のある方におすすめです！

注目すべきポイント！

- ・1クラス15名程度の少人数授業
(3キャンパスで対面及びオンラインで開講)
- ・授業はオールイングリッシュ
- ・listening, speaking, reading, writing の4技能統合を重視した授業
- ・受講料は無料(教材費のみ必要)
- ・受講にはTOEIC500点以上が必要
(英語が好きで、モチベーションの高い学生が多く受講します。)
- ・卒業に必要な単位に含めることが可能
(所属学科の規定を要確認)

ガイダンスの日程は
次頁を参照

※詳細はグローバル教育センターHPを参照

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

ガイダンスの日程

興味のある方はオンラインガイダンスに参加しましょう！

※途中入退室自由

気軽に参加して下さい。

ガイダンスに参加が難しい場合は、**動画視聴**もできます。

必修科目と重なって春・秋学期に受講できない場合は、**夏休みの集中講座**もあります！

2025年度 **春**学期 & **夏**休み集中講座

オンラインガイダンス

ERP

英語強化プログラム

1

すべて英語で
行われる授業

2

3キャンパス開講
(オンライン数クラス有)

3

双方向授業で
英語力アップ



ガイダンススケジュール

3月25日(火)14:00～15:00

4月8日(火)12:30～13:00 / 13:10～13:40

3月中にガイダンス動画をホームページに配信します
ガイダンス当日に参加できない方は**必ず視聴**してください！

募集要項・
説明会詳細
HPに掲載中！

- 受講申込期間：4月7日(月)～4月11日(金) 24:00
- お問い合わせはグローバル教育センター、または各キャンパス**Gラウンジ**までぜひお越しください。



ERP詳細

グローバル教育センター国際交流課
03-3264-4088 global@hosei.ac.jp

成績評価について

・成績の評価基準について

可否基準	合 格 (単位修得)										不合格	
評 価	S	A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C ⁺	C	C ⁻	D	E
評価基準 (点)	100 ～ 90	89 ～ 87	86 ～ 83	82 ～ 80	79 ～ 77	76 ～ 73	72 ～ 70	69 ～ 67	66 ～ 63	62 ～ 60	59 以下	未受 験等

単位の修得は、レポートの提出、定期試験及び平素の学習状況等により、総合的に考慮して判定します。2019年度より合格(単位修得)の評価がS～C⁻の11段階評価に変更となりました。

・GPAについて

評価	S	A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C ⁺	C	C ⁻	D	E
GP	4.0	3.3	3.0	2.7	2.3	2.0	1.7	1.3	1.0	0.7	0.0	0.0

$$\text{GPA} = \frac{\text{＜履修登録した科目の GP} \times \text{その科目の単位数＞の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位数}}$$

それぞれの成績評価に応じてGP(グレードポイント:Grade Point)に換算し、上記の計算方法により算出します。計算値は小数点以下第3位を四捨五入して表記します。